

マスターズ陸上組織図

世界マスターズ陸上競技協会(WMA)

アジアマスターズ陸上競技協会(AMA)

日本マスターズ陸上競技連合(JMA)

地域マスターズ陸上競技連盟

北海道 東北 関東 北陸 近畿 中国 四国 九州

マスターズ陸上組織図

北海道 青森 岩手 宮城 秋田
山形 福島
茨城 群馬 栃木 埼玉
千葉 東京 神奈川 山梨
新潟 富山 石川 福井
長野 静岡 愛知
岐阜 三重
滋賀 京都 大阪
兵庫 奈良 和歌山
鳥取 島根 岡山
広島 山口
徳島 香川 愛媛 高知
福岡 佐賀 長崎 熊本
大分 宮崎 鹿児島 沖縄

■主な全国大会・国際大会等

【全国大会】全日本マスターズ陸上競技選手権大会
都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会
全日本マスターズ混成陸上競技選手権大会
全日本マスターズロード選手権大会
全日本マスターズマラソン選手権大会
全日本マスターズ競歩選手権大会
全日本跳躍五種競技選手権大会

(注)連合が主催する競技会以外に各地域連盟、都道府県マスターズ連盟では、選手権大会や記録会、練習会など多彩な行事が行なわれます。

【世界大会】世界マスターズ陸上競技選手権大会
(2年に1度奇数年に開催)
世界マスターズ室内陸上競技選手権大会
(2年に1度奇数年に開催)
アジアマスターズ陸上競技選手権大会
(2年に1度偶数年に開催)
2014年は、岩手県・北上市で9月開催予定。

マスターズ陸上競技連合とは

私たち「日本マスターズ陸上競技連合」は昭和55年、主として中高年の方々にスポーツを通じて喜びや生きがいを感じ取っていただくとともに「若人には夢と希望を与える」ことを目的に結成された陸上競技団体。メンバーの中には中高年になってから陸上を始められた方や他のスポーツから転身された方も数多く、陸上経験のない方もスポーツが大好きな方ならどなたでも参加していただけます。

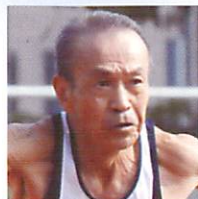
■主な役員

会長 鴻池 清司
副会長 織田 和雄 井口 輝男 生田 秀正 大串 啓二
専務理事 山田 展也
名誉会員 君原 健二 室伏 重信
マスターズ大使 為末 大

体験談

七転び八起きの人生

幼少の頃健康だったが、家庭の事情で高校進学を断念、苦学して高校教員に。「15、16、17と私の人生暗かった」。19歳から陸上に取り組み、40歳からマスターズ陸上・現在57年間連続競技大会に出場。お陰で心身の維持向上と生き甲斐づくりができました。元気な健康生活と夢のマスターズ五輪開催に向け日々頑張っております。継続は力なり!



鴻池 清司氏
(和歌山マスターズ M75)

マスターズ陸上との出会いから

35歳からマスターズ陸上と出会い、選手としてスタートラインに立ちたかったという想いが、一気に吹き上がり、競技する喜びへと変わっていきました。日本記録を樹立した2000m障害は、大障害や水濤を越え、ゴールを目指すこの競技は、まさに人生の縮図であり、辛いからこそ達成感があります。まさに障害走は、生涯走とも言えます。現在の自分に「マスターズ陸上」という環境があることへの感謝の心を忘れず、これからも研鑽を積み、自己の目標に向けて精進していきたいと思います。



末吉 真規子氏
(石川マスターズ W50)

マスターズ陸上の魅力

未経験の陸上を65歳で始め今72歳、背筋を伸ばした姿勢での日常生活が陸上の基本と思い実行、自然に爽快気分と前向き思考になる。この間、胃癌手術を受けたが一昨年の全日本400mで1位、しかし勝敗は考えず各大会に参加し、多くの同好の友人を作るのが私の目標であり練習にも熱が入る。陸上万歳である。



河村 典雄氏
(愛知マスターズ M70)

お問い合わせ

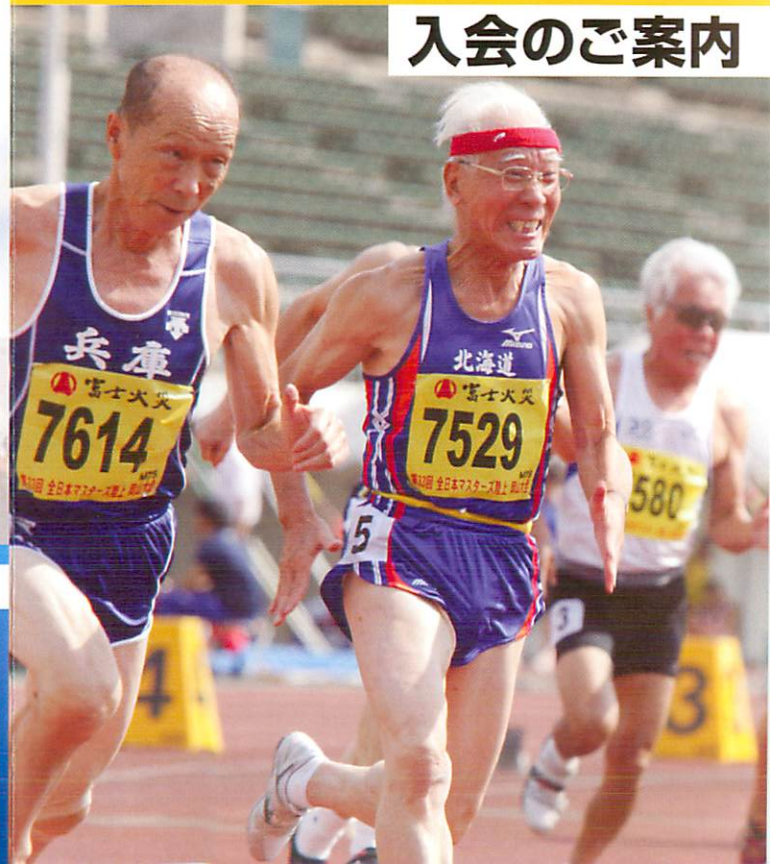
社団法人日本マスターズ陸上競技連合

〒136-0071 東京都江東区亀戸6-58-15
TEL 03-5858-1126
FAX 03-5858-1127
Eメール jt-master@j-master.gr.jp
U R L http://www.j-master.gr.jp



Japan Masters Athletics 社団法人 日本マスターズ 陸上競技連合

入会のご案内



全国の同世代の仲間たちと競い合い、交流できるマスタース陸上 私たちは陸上競技を生涯楽しむための団体です。

マスタース陸上競技の歴史

1932年英国で始まったマスタース陸上競技会は、その後欧米に広がり、1975年カナダのトロントで第1回世界マスタース陸上競技選手権大会へと発展しました。

わが国のマスタース陸上競技は、1978年1月和歌山県で産声を上げました。1980年4月、日本初の五輪金メダリストである織田幹雄氏を会長に日本マスタース陸上競技連合が創立され、第1回全日本マスタース陸上競技選手権大会を開催。その後は、毎年全日本大会を開催しています。2005年、社団法人日本マスタース陸上競技連合となりました。

今年は9月6日～8日に**第34回全日本マスタース陸上競技選手権大会**が佐賀市で行われるとともに、10月5日、6日には、45歳以上を対象とした**2013国際ゴールドマスタース京都大会(水泳・陸上同時開催)**が開催されます。

近い将来、50歳以上のゴールドマスタース五輪開催をめざしています。

記録への挑戦

“マスタース陸上”では性別・年齢に応じた記録への挑戦も可能です。マスタース陸上の競技種目は各年代層の方々が存分に力を発揮できるよう、それぞれの競技(五輪種目のほとんど)各種ロードレースなどを年齢別(5歳刻みのクラスごと)、男女別に実施。各都道府県記録および日本記録は、公認します。さらには世界記録・アジア記録への公認申請を行います。あなたの記録が正式な公認記録として登録されるのは、マスタース陸上ならでのことです。

競技種目

※日本マスタース陸上競技連合公認種目

競技種目(男子M・女子W)

【競走競技】 ●60m ●100m ●200m ●400m ●800m
●1500m ●3000m ●5000m ●10000m

【ハードル】 ●80mH ●100mH ●110mH (M49歳以下)
●200mH ●300mH ●400mH

※性別・年齢別で種目を設定

【障害物】 ●2000m (M60歳以上・W全クラス)
●3000m (M59歳以下)

【リレー】 ●4×100m ●4×400m
(注) 4×100m (M選暦・年代別、W年代別、共通)
4×400m (年代別) 8×100mはオープン種目

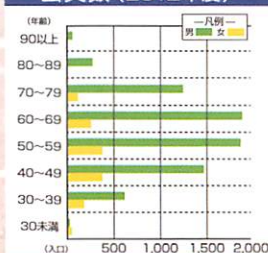
【競歩】 ●3000m競歩 ●5000m競歩

【跳躍】 ●走高跳 ●棒高跳 ●走幅跳 ●三段跳 ●立五段跳

【投てき】 ●砲丸投 ●円盤投 ●ハンマー投 ●やり投 ●重量投

【混成競技】 ●五種競技 ●十種競技(M) ●七種競技(W)
●重量五種 ●跳躍五種

会員数(2012年度)



ロード種目

フルマラソン、ハーフマラソン、20km、10km、5km、長距離競歩(M20km、W10km)などのロードレース種目もあります。

“マスタース陸上”会員メリット

1. 年齢別日本記録、世界記録が公認されます。
2. 2年に1回の世界大会やアジア大会、毎年全日本マスタース陸上競技選手権大会、ブロック(地域)・県のマスタース陸上大会など、自由に参加していただけます。
3. 陸上競技に関する講習会や実技指導、健康相談などを受けることができます。
4. 当連合の機関誌・刊行物を無料送付いたします。
5. 世代を越えて、国内外の選手と交流ができます。全日本マスタース駅伝、各種ロードレースなどにも参加できます。

ご入会の方法

●**会員資格** どなたでもご入会いただけます。競技に参加できるのは、男女共18歳以上。

●**会費** 年間4,000円前後(各都道府県登録料および連合会費1,200円を含む)。各都道府県により年会費の金額が多少異なりますので、あらかじめ各事務局にご確認ください。

●**お申し込み お振り込み先** 各都道府県にあるマスタース陸上競技連盟事務局へ。年会費のお振り込みが完了すると自動的に日本マスタース陸上競技連合ならびにブロック(地域)会員として登録されます。※入会費、振込方法、その他詳細は各事務局までお問い合わせください。

**各都道府県マスタース陸上競技連盟事務局は
全国47都道府県にあります。**

▶ <http://www.j-master.gr.jp>
「事務局一覧」よりご確認ください。

